



収穫を迎えた大和たんかん

やまとそん 議会 だより

第 81 号

令和 4 年 2 月発行
議会：議会広報委員会
発行：大和村議会
電話 0997-57-2216（直通）
FAX 0997-57-2967

一般質問（4 人）	P2 ～ 6
提出議案の主な内容	P7 ～ 9
議会の動き・編集後記	P 10



4 議員からの一般質問 d

村政を問う !!

12 月定例会では、4 名の議員が村政全般にわたる施策の状況や方針などについて、村当局に問い質（ただ）しました。質問と答弁を要約した内容は、3 ページから 6 ページです。

動画サイト「^{ユーチューブ}YouTube」で議会を配信しています！

大和村ホームページからもご覧いただけます



村議会動画配信



QR コード

令和 3 年第 4 回 大和村議会定例会一般質問

12/10 ① 0:20 ～ 52:40 市田 実孝 議員

- 1 集落の活性化や環境美化・福祉対策について
- 2 結婚応援祝い金の創設について
- 3 コロナワクチン証明書の提示の流れについて

12/10 ① 52:47 ～ 1:47:45 藏 正 議員

- 1 令和 4 年度の予算編成について
- 2 感性教育の導入について

12/10 ② 0:10 ～ 39:00 前田 清和 議員

- 1 令和 4 年度の予算編成の基本方針について
- 2 軽石漂着対策について
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種について

12/10 ② 39:08 ～ 1:37:55 勝山 浩平 議員

- 1 海岸や港に漂着している軽石対策について
- 2 大和まほろば漁業集落の活動で現認された事件の隠ぺい疑惑解消に向けた取り組みについて
- 3 日本糖業の始祖・直川智翁を祀る開饒神社の村文化財指定について
- 4 手厚い介護へその担い手となる介護職の育成について
- 5 村の観光案内所・物産館である「大和まほろば館」前へ村直行バスの停留所設置について





市田 実孝 議員

集落の活性化や環境美化・福祉対策について

問 高齢で庭木剪定等の困難者に作業助成が出来ないか。また剪定等の雑木の処分地確保を検討出来ないか

答 軽度の庭木の剪定や除草は、ご近所サポート事業や地域支え合いグループの活動で対応しているが、大がかりな剪定は対応が難しく合同会社ひらとみの受託作業で対応できないか検討。また助成金については考えていない。庭木は、一般廃棄物になるため現在での処分地の確保は難しい。

問 庭木等の手入れなど空き家の除草作業を自主的に行おうとする集落の団体に地域環境美化助成金制度を作り集落の環境対策を図っていけないか

答 庭木等の管理は、個人の私有財産の面からその集落と納税管理者・登記者と協議し管理をお願いしたい。地域環境美化助成金制度はできないと考えられる。

問 人口の高齢化で各集落の地域支えあいグループの活動はますます必要と考えられるが、その現状と今後の活動支援体制について

答 グループ活動も世話役の高齢化など活動の担い手も減少し課題となっており活動が安定的に継続していきけるようグループの代表者との協議を重ねながら支援していく。

問 地域の福祉や地域活性化のために活動する事業・起業を支援していく体制は必要と考えられるが地域振興策としてどのような支援があるのか

答 地域における住民活動はあらゆる面で地域振興につながると思えられ事業要望や相談にはその都度協議し事業申請を行っており起業・創業・事業の拡充に対し支援、助成金の制度を令和4年度当初予算に計上できるように制度設計を検討していく。



結婚応援祝い金の創設について

問 村内で結婚し入籍居住しようとする方々に、結婚支援をしていく制度を創設応援していいかないか

答 村の独身率は20〜50代で独身率53%であり、出生率の向上を図るためにも「結婚応援助成金制度（案）」を、令和4年当初予算に計上できないか検討する。



コロナワクチン証明書について

問 ワクチン接種証明の携帯や提示の有無が議論され、常に携帯が必要になった時のため現在の紙の証明から村独自で免許証などのカード式に変えられないか

答 発行方式については、全国制度に従い、スマートフォンアプリでも対応できるように村独自の対応は現在予定しない。



蔵 正 議員

チャレンジしたくなる
ような予算措置を！

令和4年度予算について

問 農業への支援策は？

答 ①これまで通り、肥料等の助成や農作業代行事業を実施。
②※農業次世代人材投資事業の活用。
③村民農園を開園し農業に参入しやすい環境づくりを行った。支援体制は整っていると考えている。

※農業次世代人材投資事業

次世代を担う農業者となることを志す人に対し、就農前の研修段階や経営の不安定な就農初期段階の青年就農（予定）者に対して資金を交付する事業

問 加工品への支援策は？

答 鹿児島県と連携し加工技術の出前相談やパッケージデザイン、販路の拡大等についても対応している。



6年後に実りますように！



夢を持って拓かれた耕作放棄地

あなたもチャレンジしてみませんか！

問 観光関連事業への支援策は？

答 今後制度設計を作っていくたい。

問 （モウかる牛飼い）チャレンジ牧場の考えは？

答 草地の確保等から畜産への取り組みは難しいとの結論に至っている。

島の自然を世界に発信
できる人材育成を！

感性を高める教育について

問 単発的な取り組みでは感性は高められない。専門家を定期的に招致し体験を継続していくことで感性が高められ開花していくのではないか

答 （教育長）子供たちの感性を引き出し、それを伸ばすという意味では、体験的な活動というのは重要で、本物の方々と触れ合い教える受けることも大事だと思う。



感性で描かれた島の生き物

学校のカリキュラムに組み入れるのは難しい。大和つ子スクールとか費用対効果等も考慮しながら考えていくことにしたい。

答 子供たちに島の良さを知ってもらう仕掛けとしては、単的じゃなく継続的な形で自然をしっかりと学んでもらう、興味を持ってもらうという仕掛けを作ればいいのかと思っている。子供たちにいろんな場面づくりをしていきたい。



前田 清和 議員

令和4年度 予算編成について

問 来年度の事業推進について
の見解は

答 新型コロナウイルス感染症
防止対策や医療提供体制の確
保、感染症収束後の経済再生、
更なる経済成長に向けた施策を
進める中、本村においては近年
の大型事業に係る元金償還が始
まり、公債費の増額が見込まれ
るので、歳出における経常経費
の削減に努めつつ、4期目に掲
げた7項目のマニフェスト実現
に向け取り組んでいく。

問 具体的目玉となる事業は

答 農業振興において、合同会
社ひらとみと連携し体験型観光
農園の早期実現と実証農園にお
ける「オーナー制度」の確立、
定住促進においては、村有地へ
の民間アパートの誘致を推進す
る。また、観光振興については、
アマミノクロウサギ研究飼育施
設の早期完成を目指す。さらに
「安全・安心な村づくり」では、
高齢者の支え合い拠点施設整備
を進めつつ、生活困窮者対策を
考え「福祉事務所設置」に向け
て取り組んでいく。

軽石漂着対策について

問 今後の対応策は

答 今回の補正予算に軽石回収
を含む海岸漂着物回収費用も計
上している。今後とも人力作業や
重機利用の回収方法を検討しな
がら住民と役場、官民一体とな
って回収作業を行っていく。

問 軽石の再利用は出来ないか

答 県からの明確な軽石の再利
用についての指針は示されてい
ない。沖縄県農林水産部の発表
では、高い塩類濃度が認められ
ることから農地及び農地周辺へ
の野積みについては推奨できな
い。環境部の調べでは、土壌環
境基準を満たしており軽石の利
用に際して、環境安全性に問題
はないとの見解も示されてい
る。村としては、今後軽石を農
業で再利用する場合は、塩抜き
などをした上での対応が必要で
あると考える。



毛陣川：
漂着した軽石が
河口を埋め尽くす



新型コロナウィルスワ クチン接種について

問 3回目のワクチン接種の時
期は

答 現在のところ、最短で1月
中旬以降に高齢者の集団接種か
らスタート出来るよう準備を進
めている。また会場についても
前回同様、村体育館において土
日を利用した集団での接種を基
本とし、大和診療所での個別接
種も組み合わせる形で行う予定。



集団接種会場の村体育館



勝山 浩平 議員

漂着している 軽石対策を！

問 漂流や漂着の確認と被害の状況は

答 ほとんどの海岸や港、河川で漂着を確認。漁船のエンジン故障2件と軽石漂流により出漁できない等の被害が発生。

問 現状を踏まえた対策と長期化にそなえ今後の対策は

答 各集落に海岸漂着物と軽石の回収をお願いしている。

(住民税務課長) 自主的に回収作業を行う場合、道具の貸し出しや謝金を支給する。

問 漁船故障に対する対策は

答 (産業振興課長) 奄振事業を活

用して対応できないか広域事務組合が国交省と検討中。補助制度が無い場合は村の漁具助成制度が活用できるように検討したい。(企画観光課長) 観光業への被害が発生した場合は状況により色々と検討したい。

まほろば漁業集落での 隠ぺい疑惑解消に向け た取り組みを！

問 役場が立ち会い話し合いの場を設けると約束したがその内容は

答 まだ実施していないが年内に設定し内容は関係者にも報告したい。

開饒神社の 村文化財指定を！

問 村文化財指定を村文化財保護審議会に諮問するべき

答 (教育長) 建物は昭和59年に建立され、まだ月日が浅いため、今後、年月を重ねた後、ふさわしいかどうか判断されるものだ。

指定について村文化財保護審議会に意見を聞くことはできる。

問 教育・観光振興のための看板設置について

答 (企画観光課長) 可能だと思いうので協議したい。

問 保存、管理等に関して村が間接的に支援することができないか

答 (教育長) 宗教法人に登記されており行政が予算を付けることは適当ではない。

介護職の育成を！

問 介護職員初任者研修の次年度以降の開講は

答 計画していないが10名程度の受講希望者がいるなら計画していくことも考えられる。

問 今後、介護福祉士実務者研修の開講は

答 初任者研修は現在の本村における介護ニーズに十分対応できる資格なので実務者研修は今のところ予定していない。

問 介護福祉士の受験を奄美で開催できるように市町村長会として要望していくべきでないか

答 受験しやすい環境は離島の人材不足解消のためにも必要。調査をしながら意見聴取をして市町村長会として要請できればと思う。

問 介護の資格取得などの受験料や旅費宿泊費等へ助成できないか

答 助成等は行っていない。村内で社協や施設で働く人には旅費助成している。大和村で働くという意思の方には、その資格に対する助成をしようと思う。

「大和まほろば館」前 へ停留所設置を！

問 買い物支援や観光振興の観点から設置することはできないか

答 村民の買い物支援や観光振興が図られると思う。来年度に移動支援の運行形態などあわせて総合的に判断したい。

令和3年第4回定例会あらまし

第4回定例会は12月7日から12月10日までの日程で開かれ、令和3年度一般会計及び特別会計の補正予算をはじめ、条例の新規制定及び一部改正などが上程されました。

主な内容は次のとおりです。令和3年度大和村一般会計補正予算（第3号）1億7,016万8千円増額、予算総額33億4,533万円のほか5つの特別会計の補正予算を原案可決しました。

また、大和村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定、旧慣による公有財産の使用の廃止、大和村過疎地域持続的発展計画の変更など議案5件を原案可決しました。

里川総合流域防災事業の旧慣による公有財産の使用の廃止について

（事業の内容）

大金久集落の背後において、県が施工する「里川総合流域防災事業（砂防）」に伴い、砂防ダムえん堤を築堤するにあたり、村有地の処分をしようとするもの。

※旧慣とは：市町村制施行以前からの慣習（旧慣）のこと。

※えん堤とは：土砂等をせきとめるために、石、コンクリートなどで築いた堤防のこと。

みなさんのご意見をお聞かせください



年4回発行される議会だよりについては、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますが皆さんからのご意見をお聞かせください。

また、議会に対するご意見やご要望がございましたらお聞かせください。

住民からの声

集落内での工事を行う場合は、事前に工期の日程や内容についての周知を徹底してほしい。

答弁：住民に不安を与えないように取り組んでいきます。

【お問い合わせ先】議会事務局 電話：0997-57-2216（直通）
FAX：0997-57-2967 メール：gikai@vill.yamato.lg.jp

防災関連施設整備事業 2,450万円

(事業の内容)

避難所施設機能向上として、旧湯湾釜分校（まほろば保育園として使用中）の自家発電機の設置及びトイレ改修。思勝コミュニティーセンターのトイレ改修及びサッシの改修。

いずれも災害時の避難所として活用をするための整備である。



倉庫を新築して
発電機を設置



湯湾釜
高齢者等が利用しやすいトイレへ改修



思勝



強化されるサッシ

子育て世帯臨時特別給付金 1,000万円

(事業の内容)

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、その影響が様々な人に及ぶ中、子育て世帯を支援する取組の一つとして支給するもの。

質疑 給付金の支給開始はいつか。

答弁 18歳以下の子供がいる世帯へ5万円の現金支給。児童手当支給対象者を中心に年内に支給予定。残りの5万円分のクーポンなどによる支給については国からの通知待ちである。

※ お問い合わせ先 保健福祉課 57-2218（直通）

決定! 12月22日に支給されました!

12月定例会後に国からの新たな指針として、クーポンに代えて現金による給付を行うことも可能である旨が示されたことから子ども一人当たり10万円が現金一括で支給されました。



戸円校改修工事・監理業務委託費

8,000万円

(事業の内容)

旧戸円校は建築から39年、廃校から8年経過し、老朽化が著しく、爆裂、モルタルの剥離等の危険があり、利用者の危険が懸念されることから整備改修及び特別校舎の取り壊しを行うもの。

質疑 戸円校改修事業はどのような内容か。

答弁 旧戸円校は現在すももの会と集落民が使用しているが、腐食が激しく危険な力所があるため一部取り壊しと教室等の改修工事を行う。改修後は、すももの会の作業効率の向上と旧図書室を新たにインフィニティ国際学院（本社東京）が中等部（大和村キャンパス）として活用する。キャンパスを使用しない期間は、ワーケーション施設として活用する計画である。



老朽化が著しく危険なため改修される校舎



解体される特別校舎

コロナワクチン接種体制

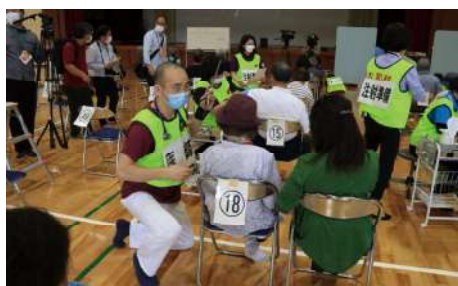
628万6千円

(事業の内容)

重症化予防効果についても時間の経過に伴い徐々に低下していくことが示唆されている。このため感染拡大防止及び重症化予防の観点から3回目の接種を行うものである。

質疑 3回目接種体制とスケジュールはどのようなになっているか。

答弁 村民への3回目のコロナワクチン接種の準備として計上。計画としては1～2回目同様に村体育館で集団接種を計画。65歳以上を1月中旬にスタートし順次計画を立てているところである。中学生以下については診療所での個別接種を予定している。



1回目接種の様子



議会の動き

【12月】

7日～10日

第4回大和村議会定例会

【1月】

4日 成人式

17日 アマミノクロウサギ飼育研究展示施設勉強会

【2月】

16日 各種協議会

22日 議会運営委員会

25日 一部事務組合議会



定例監査を実施しました

11月8日から11日までの日程で定例監査を実施しました。

4月から9月末までの各課の業務の進捗状況や予算の執行が適正に行われているか、提出資料や職員の説明を聴取して実施しました。

そのほか毎月、会計管理者等より提出された検査調書を基に保管現金の確認及び資金運用状況の調査並びに証拠書類の審査等により、現金の収入や支出の事務処理が適正に行われているか、検査を実施しています。



学校備品監査

手前左：元野監査委員

手前右：宮田監査委員

編集後記

村民の皆さん、日頃より議会傍聴及び議会だよりをご愛読頂き、改めて感謝申し上げます。

ここ数年脅かされてきた新型コロナウイルスも落ち着きを見せていましたが新年早々、感染者が急増しており、本村でも確認されました。まだまだ油断が出来ない状況です。安全対策を引き続きお願いいたします。

さて、大和村も世界自然遺産登録となり、前回の本誌にも掲載されました石川に温泉も湧出され、光り輝く本村となつてまいりました。議会といたしましても、とても光栄で喜ばしいことだと感謝いたしております。

議会だよりですが我々、広報委員4名で定例会の後に毎回、編集・作成を事務局と共に進めております。村民の皆さん、ご愛読されていますか。皆さんに見て、読んで頂けることを作成のたびに願っております。

本文の内容ですが予算・決算委員会、一般質問の等については

質疑に対し行政による答弁がありますが、限られたスペースに全文を書き込む事はできません。詳細は、各集落公民館に設置の「大和村議会会議録」をどうぞご覧ください。

また、編集にあたっては、議会事務局職員が一緒になって頑張っております。今後も村民に愛され、親しまれる議会だよりの作成に努めてまいります。

大和村議会へのご指導をよろしくお願い致します。

最後に村民の皆さんにとってより良い年になりますようご祈念いたします。

重信 安男

編集委員会

委員長	重信 安男
委員	前田 清和
市田 実孝	